

愛称：泰平航路  
コーポレート・ボンド・インカム  
(為替ヘッジ型)

マンスリー・レポート

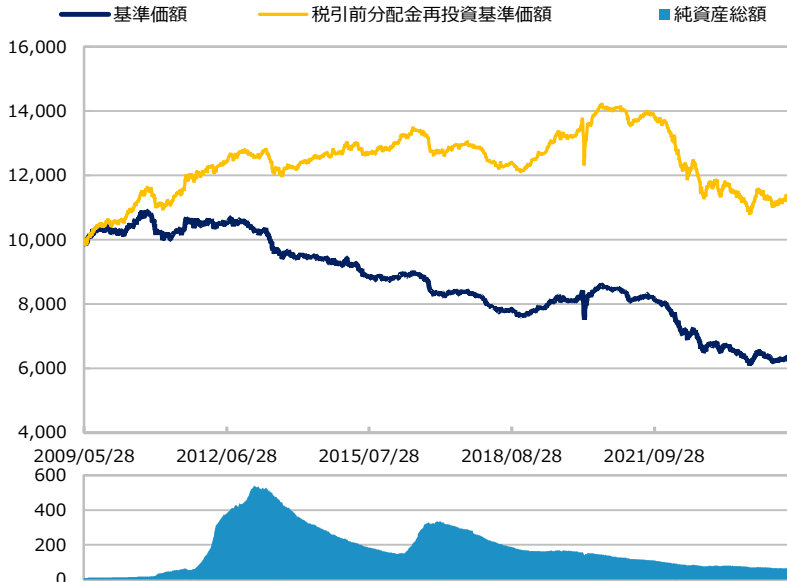
【投信協会商品分類】 追加型投信／海外／債券

作成基準日：2024年09月30日

ファンド設定日：2009年05月29日

日経新聞掲載名：泰平航有

基準価額・純資産総額の推移 (円・億円)



- グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。
- 基準価額は信託報酬控除後です。信託報酬は後述の「ファンドの費用」をご覧ください。

基準価額・純資産総額

	当月末	前月比
基準価額 (円)	6,402	+41
純資産総額 (百万円)	6,442	+2

- 基準価額は10,000口当たりの金額です。

騰落率 (税引前分配金再投資) (%)

	基準日	ファンド
1 カ月	2024/08/30	0.8
3 カ月	2024/06/28	2.6
6 カ月	2024/03/29	1.5
1 年	2023/09/29	4.1
3 年	2021/09/30	-16.6
設定来	2009/05/29	14.9

- ファンドの騰落率は税引前分配金を再投資した場合の数値です。
- ファンド購入時には購入時手数料、換金時には税金等の費用がかかる場合があります。
- 騰落率は実際の投資家利回りとは異なります。

最近の分配実績 (税引前) (円)

期	決算日	分配金
第180期	2024/05/07	10
第181期	2024/06/05	10
第182期	2024/07/05	10
第183期	2024/08/05	10
第184期	2024/09/05	10
設定来累計		5,405

※ 分配金は10,000口当たりの金額です。過去の実績を示したものであり、将来の分配をお約束するものではありません。

資産構成比率 (%)

	当月末	前月比
債券	94.4	+8.2
先物等	0.0	0.0
現金等	5.6	-8.2
合計	100.0	0.0

為替ヘッジ比率 97.8 +0.2

※ 為替予約の邦貨換算を外貨建資産の邦貨換算額で除して算出しています。

運用概況

当月末の基準価額は、6,402円（前月比+41円）となりました。当月は10,000口当たり10円の分配（税引前）を実施しました。

また、税引前分配金を再投資した場合の月間騰落率は、+0.8%となりました。なお、当月末の為替ヘッジ比率は97.8%となりました。

※ この資料の各グラフ・表に記載されている数値は、表示桁未満がある場合は四捨五入して表示しています。  
※ この資料に記載されている構成比を示す比率は、注記がある場合を除き全てファンドの純資産総額を100%として計算した値です。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



愛称：泰平航路  
コーポレート・ボンド・インカム  
(為替ヘッジ型)

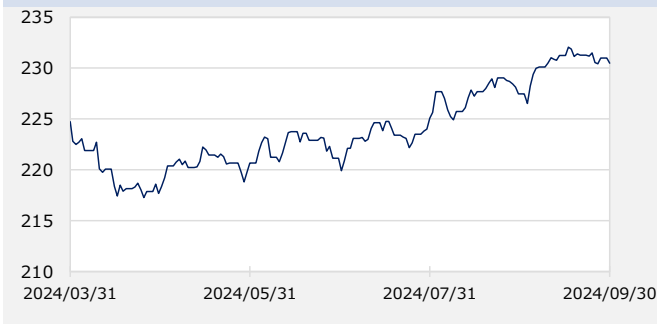
マンスリーレポート

【投信協会商品分類】 追加型投信／海外／債券

作成基準日：2024年09月30日

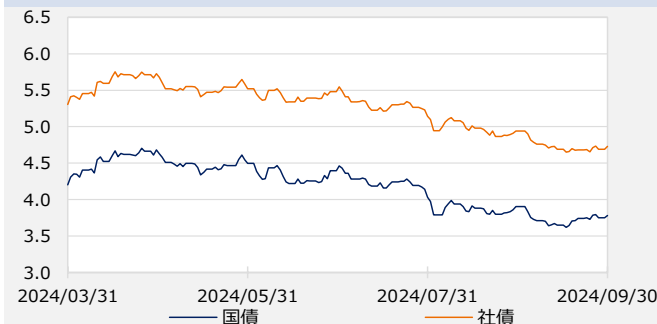
市場動向

米国社債インデックス (円ヘッジベース)



当月騰落率：1.3%

アメリカ国債・社債の利回り (%)



国債 当月末：3.78% 前月末：3.90% 変化幅：-0.12%

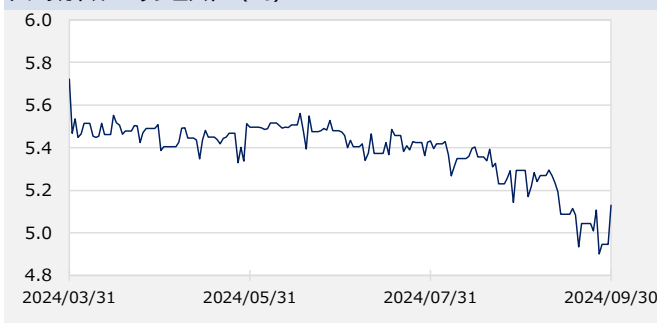
社債 当月末：4.73% 前月末：4.94% 変化幅：-0.21%

円/アメリカドル (円)



当月末：142.7 前月末：144.8 騰落率：-1.4%

アメリカドル ヘッジコスト (%)



当月末：5.13% 前月末：5.29% 変化幅：-0.16%

- ※ Bloomberg等のデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成。
- ※ 米国社債インデックスは、Bloomberg U.S. Corporate Indexです。
- ※ 国債利回りはアメリカ10年国債利回り、社債利回りはBloomberg U.S. Corporate Index利回りです。
- ※ 為替レートは一般社団法人 投資信託協会が発表する仲値 (TTM) です。
- ※ ヘッジコストは該当通貨の対円のスポットレートと1ヵ月物フォワードレートを用いて算出し年率換算した値です。

※ 作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等をお約束するものではありません。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



コーポレート・ボンド・インカム  
(為替ヘッジ型)

【投信協会商品分類】 追加型投信／海外／債券

作成基準日：2024年09月30日

## 基準価額の変動要因 (円)

	計	インカム	キャピタル
債券	+83	+20	+63
先物等	0	0	0
為替	-25	-	-
分配金	-10	-	-
その他	-6	-	-
合計	+41	+20	+63

※ 基準価額の月間変動額を主な要因に分解したもので概算値です。

## 組入上位5通貨 (%)

	当月末	前月比
1 アメリカドル	94.4	+8.2

※ 為替ヘッジ前の値です。

## 組入上位5カ国・地域 (%)

	当月末	前月比
1 アメリカ	85.3	+7.2
2 フランス	2.4	+0.2
3 オランダ	1.5	+0.1
4 日本	1.3	+0.1
5 カナダ	1.1	-0.2

## 円/アメリカドルの為替レートと騰落率 (月間)

前月末 (円)	当月末 (円)	騰落率 (%)	影響額 (円)
144.8	142.7	-1.4	-91

※ 影響額は、為替ヘッジを行わない場合に為替の変動が基準価額に及ぼす影響の推計値です。前月末の基準価額に上記騰落率を乗じて算出しています。

## 残存構成比率 (%)

	当月末	前月比
1年未満	0.0	0.0
1-3年	3.5	+0.2
3-5年	20.6	-0.6
5-7年	15.2	+0.1
7-10年	44.0	+7.4
10年以上	11.1	+1.2

## 格付構成比率 (%)

	当月末	前月比
AAA	0.4	+0.0
AA	11.1	+1.1
A	63.9	+5.0
BBB	19.1	+2.1
BB	0.0	0.0
その他	0.0	0.0

## ポートフォリオ特性値

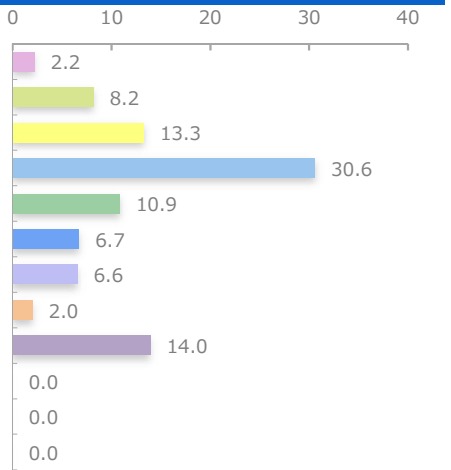
	当月末	前月比
クーポン (%)	4.0	+0.4
残存年数 (年)	8.0	+1.0
デュレーション (年)	6.1	+0.7
直接利回り (%)	3.9	+0.3
最終利回り (%)	4.2	+0.2
平均格付け	A	A

※ 各組入銘柄の数値を加重平均した値です。  
※ 格付けは投資債券に対する主要格付機関の格付けに基づいており、ファンドにかかる格付けではありません。  
※ 上記は将来の運用成果をお約束するものではありません。

## 業種構成比率 (%)

	当月末	前月比
素材	2.2	+0.1
資本財	8.2	+1.9
通信	13.3	+3.3
消費安定	30.6	+2.7
消費循環	10.9	-0.7
エネルギー	6.7	+0.3
テクノロジー	6.6	+0.6
運輸	2.0	-0.4
公益	14.0	+0.4
銀行・証券等	0.0	0.0
その他金融	0.0	0.0
その他	0.0	0.0

※ 業種はBloomberg Indexに基づく分類です。



コーポレート・ボンド・インカム  
(為替ヘッジ型)

【投信協会商品分類】 追加型投信／海外／債券

作成基準日：2024年09月30日

## 組入上位10銘柄

(組入銘柄数 216)

銘柄	残存年数(年)	格付け	比率	コメント
通貨/国/業種	償還日	クーポン(%)	(%)	
1 TモバイルUSA社債 アメリカドル / アメリカ 通信	10.3 2035/01/15	BBB+ 4.700	1.8	米国の大手ワイヤレス通信会社。近年、革新的なマーケティングを駆使し、強いベースで顧客獲得を続ける。同業スプリント買収で貴重な通信帯域を大量取得、高速5Gネットワークを全米で最初に配備した。
2 ベライゾン・コミュニケーションズ社債 アメリカドル / アメリカ テクノロジー	4.0 2028/09/21	A- 4.329	1.4	米国の大手電話通信会社。米国で最も強いとされる通信ネットワーク網を軸に、携帯電話事業を運営する。5Gに最適の通信帯域をオークションで大量購入、高速・低遅延の5Gネットワーク構築をすすめる。
3 コムキャスト社債 アメリカドル / アメリカ ケーブル	9.7 2034/06/01	A- 5.300	1.4	全米最大手のケーブル事業会社。ケーブルTV、高速インターネット、携帯通信サービスその他を提供。傘下に、テーマパークを含むメディア大手NBCユニバーサル、欧州衛星TVのSKYを持つ。
4 ウォルト・ディズニー社債 アメリカドル / アメリカ メディア・娯楽	2.7 2027/06/15	A 2.950	1.3	米国カリフォルニア州を本拠地とする、メディア及びエンタテインメントのグローバル企業。インターネット動画配信サービス、テレビ放送、ケーブルテレビ運営、テーマパーク運営、クルーズ運行、映画制作・興行、キャラクターグッズ等商品販売などの事業を行う。
5 サーマフィッシャーサイエンティフィック社債 アメリカドル / アメリカ ヘルスケア	18.9 2043/08/10	A- 5.404	1.2	米国の生命科学設備メーカー。クロマトグラフィー製品・質量分析機器・製薬 & バイオ製薬会社向けの創薬・開発・診断開発及び製薬ソリューション用製品等を展開。
6 アンフェノール社債 アメリカドル / アメリカ 資本財	9.5 2034/04/05	A- 5.250	1.1	米国の資本財企業。コネクタ、アンテナ、センサー、ケーブル等の電子機器・部品を設計、製造、販売する。同領域ではグローバルに見てもトップクラスのシェアを有する。
7 ケンビュー社債 アメリカドル / アメリカ 消費者製品	18.5 2043/03/22	A+ 5.100	1.1	製薬大手Johnson & Johnsonから分離されたコンシューマーヘルス専業会社。米国ニュージャージー州に本社を置く。セルフケア・美容・エッセンシャルヘルス分野での一般消費者向け健康製品を製造・販売する。
8 HCA社債 アメリカドル / アメリカ ヘルスケア	10.0 2034/09/15	BBB- 5.450	1.1	米国テネシー州ナッシュビルに本部を置く、米国最大級の民間営利医療機関のホールディングカンパニー。米国で総合病院・救急病院・外来診療施設を展開する。
9 DRホートン社債 アメリカドル / アメリカ 住宅建設	10.0 2034/10/15	A- 5.000	1.0	新規住宅販売件数ベースで全米No1の市場シェアを誇る住宅メーカー。手頃な価格帯の1戸建て住宅の建設販売が事業の中心で、賃貸物件も一部で取り扱う。
10 パブリックサービス・エレクトリック・アンド・ガス社債 アメリカドル / アメリカ 電力・ガス	2.6 2027/05/15	A+ 3.000	1.0	ニュージャージー州で送配電/ガスを手がける規制公益企業。同州では人口の約7割をカバーするなどプレゼンスが極めて高く、規制当局へのグリップも強い。非規制発電事業を行うPSEG Powerなども傘下に抱える持株会社PSEGの中核子会社。

※ 格付けは投資債券に対する主要格付機関の格付けに基づいています。

※ 組入銘柄の紹介を目的としており、記載銘柄の推奨を行うものではありません。また、記載内容は作成時点のものであり、将来予告無く変更されることがあります。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



三井住友DSアセットマネジメント

Be Active.

コーポレート・ボンド・インカム  
(為替ヘッジ型)

【投信協会商品分類】 追加型投信／海外／債券

作成基準日：2024年09月30日

## その他の組入銘柄

(組入発行体数 121)

銘柄	国・地域	銘柄	国・地域	銘柄	国・地域
11 ユニリーバ・キャピタル社債	アメリカ	46 ハーシー社債	アメリカ	81 デューク・エナジー・プログレス社債	アメリカ
12 ギリアド・サイエンス社債	アメリカ	47 フォルクスワーゲングループ・アメリカファイナンス社債	アメリカ	82 モンデリーズ・インターナショナル社債	アメリカ
13 アメリカン・タワー社債	アメリカ	48 パッケージング・コーポ・オブ・アメリカ社債	アメリカ	83 ホーム・デポ社債	アメリカ
14 トレイン・テクノロジーズ社債	アイルランド	49 コカ・コーラ社債	アメリカ	84 ペプシコ社債	アメリカ
15 ネットフリックス社債	アメリカ	50 アドビ社債	アメリカ	85 コムキャスト社債	アメリカ
16 シーメンスファイナンシャルサービス社債	オランダ	51 テイクツー・インタラクティブ・ソフトウェア社債	アメリカ	86 パブリックサービス・エレクトリック・アンド・ガス社債	アメリカ
17 コカ・コーラ社債	アメリカ	52 ビュージェット・サウンド・エナジー社債	アメリカ	87 ジョン・ディア・キャピタル社債	アメリカ
18 ラルフローレン社債	アメリカ	53 アリゾナ・パブリック・サービス社債	アメリカ	88 デューク・エナジー・カロライナズ社債	アメリカ
19 ジョン・ディア・キャピタル社債	アメリカ	54 アマゾン・ドット・コム社債	アメリカ	89 ブリストル・マイヤーズ・スクイブ社債	アメリカ
20 ギリアド・サイエンス社債	アメリカ	55 フィリップ・モリス・インターナショナル社債	アメリカ	90 ウォルト・ディズニー社債	アメリカ
21 三菱商事社債	日本	56 オートゾーン社債	アメリカ	91 ベライゾン・コミュニケーションズ社債	アメリカ
22 BMW米国キャピタル社債	アメリカ	57 三菱商事社債	日本	92 ファイザー社債	アメリカ
23 アンハイザー・ブッシュ・インベプワールドワイド社債	アメリカ	58 BMW米国キャピタル社債	アメリカ	93 デューク・エナジー・フロリダ社債	アメリカ
24 ボルチモア・ガス&エレクトリック社債	アメリカ	59 コルゲート・パルモリーブ社債	アメリカ	94 サーマフィッシャー・サイエンティフィック社債	アメリカ
25 メルセデス・ベンツ・ファイナンス・ノース・アメリカ社債	アメリカ	60 ウェイスト・マネジメント社債	アメリカ	95 ユニリーバ・キャピタル社債	アメリカ
26 コムキャスト社債	アメリカ	61 スターバックス社債	アメリカ	96 デューク・エナジー・プログレス社債	アメリカ
27 エスティローダー社債	アメリカ	62 IBM社債	アメリカ	97 コロンビア・パイプラインズ・オペレーティング社債	アメリカ
28 サノフィ社債	フランス	63 ウェイスト・コネクションズ社債	カナダ	98 ナショナル・ラウルユーティリティーズコーポレート社債	アメリカ
29 BPキャピタル・マーケッツ・アメリカ社債	アメリカ	64 タンパ・エレクトリック社債	アメリカ	99 CSX社債	アメリカ
30 ターゲット社債	アメリカ	65 KLA社債	アメリカ	100 ストライカー社債	アメリカ
31 ソノコ・プロダクツ社債	アメリカ	66 IBM社債	シンガポール	101 ウェイスト・マネジメント社債	アメリカ
32 ネスレ・ホールディングス社債	アメリカ	67 フォルクスワーゲングループ・アメリカファイナンス社債	アメリカ	102 メトロロニック・グローバル・ホールディングス社債	ルクセンブルク
33 トタル・キャピタル・インターナショナル社債	フランス	68 ジンマー・バイオメット・ホールディングス社債	アメリカ	103 ダイヤモンドバック・エナジー社債	アメリカ
34 ギリアド・サイエンス社債	アメリカ	69 ロジャーズ・コミュニケーションズ社債	カナダ	104 エssenシャル・ユーティリティーズ社債	アメリカ
35 キューリグ・ドクターペッパー社債	アメリカ	70 クローガー社債	アメリカ	105 ペプシコ社債	アメリカ
36 エクソンモービル社債	アメリカ	71 シェル・インターナショナル・ファイナンス社債	オランダ	106 エクソンモービル社債	アメリカ
37 インテュイット社債	アメリカ	72 グラクソ・スミスクライン・キャピタル社債	アメリカ	107 トタル・キャピタル・インターナショナル社債	フランス
38 バージニア・エレクトリック&パワー社債	アメリカ	73 CSX社債	アメリカ	108 ターゲット社債	アメリカ
39 セールスフォース社債	アメリカ	74 パブリック・サービス・オブ・コロラド社債	アメリカ	109 デューク・エナジー・カロライナズ社債	アメリカ
40 ネスレ・ホールディングス社債	アメリカ	75 ペプシコ社債	アメリカ	110 ハネウェル・インターナショナル社債	アメリカ
41 マース社債	アメリカ	76 ユニオン・パシフィック社債	アメリカ	111 コノフィリップス社債	アメリカ
42 イーライリリー社債	アメリカ	77 アドバンスト・マイクロ・デバイセズ (AMD) 社債	アメリカ	112 アストラゼネカ・ファイナンス社債	アメリカ
43 ファイザー社債	アメリカ	78 コカ・コーラ社債	アメリカ	113 バージニア・エレクトリック&パワー社債	アメリカ
44 クエスト・ダイアグノスティクス社債	アメリカ	79 グラクソ・スミスクライン・キャピタル社債	イギリス	114 メルク社債	アメリカ
45 PSEG社債	アメリカ	80 アトモス・エナジー社債	アメリカ	115 ファイザー社債	アメリカ

※ 同一発行体で発行条件が異なる複数の銘柄に投資している場合は、銘柄名が重複して表示されます。

コーポレート・ボンド・インカム  
(為替ヘッジ型)

【投信協会商品分類】 追加型投信／海外／債券

作成基準日：2024年09月30日

## その他の組入銘柄

銘柄	国・地域	銘柄	国・地域	銘柄	国・地域
116	アメリカ	151	アメリカ	186	アメリカ
117	アメリカ	152	アメリカ	187	アメリカ
118	アメリカ	153	アメリカ	188	アメリカ
119	アメリカ	154	アメリカ	189	アメリカ
120	アメリカ	155	アメリカ	190	アメリカ
121	アメリカ	156	アメリカ	191	アメリカ
122	アメリカ	157	アメリカ	192	アメリカ
123	アメリカ	158	フランス	193	アメリカ
124	アメリカ	159	アメリカ	194	アメリカ
125	アメリカ	160	アメリカ	195	アメリカ
126	アメリカ	161	アメリカ	196	アメリカ
127	アメリカ	162	アメリカ	197	アメリカ
128	アメリカ	163	アメリカ	198	アメリカ
129	アメリカ	164	アメリカ	199	アメリカ
130	アメリカ	165	アメリカ	200	ルクセンブルク
131	アメリカ	166	アメリカ	201	アメリカ
132	アメリカ	167	アメリカ	202	アメリカ
133	アメリカ	168	アメリカ	203	アメリカ
134	アメリカ	169	アメリカ	204	アメリカ
135	アメリカ	170	アメリカ	205	アメリカ
136	アメリカ	171	アメリカ	206	アメリカ
137	アメリカ	172	アメリカ	207	アメリカ
138	アメリカ	173	アメリカ	208	アメリカ
139	アメリカ	174	アメリカ	209	アメリカ
140	シンガポール	175	アメリカ	210	アメリカ
141	アメリカ	176	アメリカ	211	アメリカ
142	アメリカ	177	アメリカ	212	アメリカ
143	アメリカ	178	アメリカ	213	アメリカ
144	アメリカ	179	フランス	214	アメリカ
145	アメリカ	180	アメリカ	215	アメリカ
146	アメリカ	181	アメリカ	216	イギリス
147	アメリカ	182	アメリカ		
148	アメリカ	183	アメリカ		
149	アメリカ	184	アメリカ		
150	アメリカ	185	アメリカ		

※ 同一発行体で発行条件が異なる複数の銘柄に投資している場合は、銘柄名が重複して表示されます。

※ このページは「コーポレート・ボンド・インカムマザーファンド」の情報を記載しています。

## ファンドマネージャーコメント

### <9月の相場概況>

米国では、長期金利（10年国債利回り）は低下しました。上旬に発表されたISM（全米供給管理協会）製造業景況指数や雇用統計等の経済指標が市場予想を下回ったことから、金利は低下しました。その後、FOMC（米連邦公開市場委員会）での0.5%の利下げの可能性が報じられたことから、金利は一段と低下しました。実際に、FOMCでは0.5%の利下げが決定されましたが、同時に発表された金融政策見通しや記者会見でのパウエル議長の発言がタカ派（インフレ抑制を重視する立場）的と捉えられたこと等から、金利は低下幅を縮小しました。社債スプレッド（国債に対する上乗せ金利）は月間で縮小しました。月上旬にかけては、米国景気の減速に対する懸念が高まったことなどを背景に社債スプレッドは拡大しましたが、その後は市場のセンチメント（心理）が改善するなかで、縮小して推移しました。

米ドル/円は、下落しました。月前半は、軟調な米経済指標による景気減速懸念から米ドル安・円高が進みました。その後、米金利が上昇に転じる中、米ドル/円も下落幅を縮小しました。月末には、自民党総裁選の結果を受けて乱高下しましたが、月間を通しては米ドル安・円高となりました。

### <9月の運用状況>

社債市場における良好な需要を背景に、一部保有債券から新発債や今年起債された社債を中心に入れ替え、ポートフォリオの流動性を高めました。新発債については、通信のTモバイルUSAやテクノロジーのオラクルなどを購入しました。

A格相当以上を中心として、業種別では安定業種（消費・公益・通信）が過半となるように組み入れています。新発債についてはスプレッドの厚いBBB格にも配分し、全体の平均格付けをA格としています。

### <今後の市況見通し>

米国では、経済に減速感が見え始め、インフレの正常化も前進しています。労働市場も落ち着いてきたことから、穏やかに利下げが継続される見通しであり、長期金利も金融緩和に伴い低下していく展開を予想します。社債市場については、短期的には神経質な展開が続くと予想します。ただし、2025年にかけての政策金利の引き下げが市場で織り込まれ始めると長期金利は低下が進み、中長期的な社債投資のサポート材料となるもの想定します。

米ドル/円は、FRB（米連邦準備制度理事会）の利下げ継続や日銀の追加利上げの見通しから、年末に向けて緩やかな米ドル安・円高の展開を予想します。ただし、日本の国際収支の構造変化、日米金利差がなお大きいこと

※ 作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等をお約束するものではありません。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



愛称：泰平航路  
コーポレート・ボンド・インカム  
(為替ヘッジ型)

マンスリーレポート

【投信協会商品分類】 追加型投信／海外／債券

作成基準日：2024年09月30日

※ このページは「コーポレート・ボンド・インカムマザーファンド」の情報を記載しています。

#### ファンドマネージャーコメント

からペースは穏やかと予想します。

#### <投資方針>

以上の投資環境見通しをベースに、社債発行企業の信用力評価や個別証券の投資価値に着目して、銘柄選択を行っていきます。ポートフォリオ全体の業種配分は安定業種を多めとし、格付け配分についてはA格以上を中心とします。金融政策正常化の過程で社債利回りは当面落ち着きどころを探す展開になると見込まれるため、引き続き慎重に買い場を探す姿勢で臨みます。

※ 作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等をお約束するものではありません。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用





コーポレート・ボンド・インカム  
(為替ヘッジ型)

【投信協会商品分類】 追加型投信／海外／債券

作成基準日：2024年09月30日

## ファンドの特色

- 高格付社債（米ドル建て、投資適格社債）へ投資します。
    - コーポレート・ボンド・インカムマザーファンドへの投資を通じて行います。
    - 一部、米国企業以外の企業が発行する米ドル建て投資適格社債や、米ドル建て投資適格社債を対象としたETF（上場投資信託）、国債、政府機関債等への投資を行うことがあります。
    - 金利変動リスク（債券の価格変動リスク）を調整する目的で債券先物取引を活用する場合があります。\* 投資適格社債とは、主要格付機関による格付けが、BBB格相当以上の社債をいいます。
  - 投資対象とする債券の格付けは、A格相当以上を中心とし、業種配分等にも配慮します。
    - 通常A格相当90%以上（BBB格相当10%程度）の運用で信用リスクを抑制します。ただし、BBB格相当については20%まで投資できるものとします。
    - ・上記比率は実質組入債券評価総額に対する比率です。
    - ・上記の格付けは、原則としてS&P、ムーディーズ等の主要格付機関により付与された格付けとし、A格相当はA- / A3、BBB格相当はBBB- / Baa3まで含めます。
    - ・取得後に、BBB- / Baa3格未満に格下げされた場合は、原則として3ヵ月以内に売却するものとします。
    - 業種配分については、信用リスクに配慮して、安定業種（消費、公益、通信等の業種）を中心に投資します。経済、市場環境等が変化した場合には安定業種の内容を変更する場合があります。\* 格付けとは、債券などの元本、利息支払いの確実性の度合いを示すものです。一般的に、格付けの高い債券ほど利回りは低く、格付けの低い債券ほど利回りは高くなります。
  - 対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクを低減します。
    - 実質外貨建資産に対し原則として対円での為替ヘッジを行うため、為替の変動による影響は限定的と考えられます。ただし、完全に為替変動リスクを回避することはできません。
  - 毎月決算を行い、安定した分配を目指します。
    - 委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。※「安定した分配を目指します。」としていますが、これは、運用による収益が安定したものになることや基準価額が安定的に推移すること等を示唆するものではありません。また、基準価額の水準、運用の状況等によっては安定分配とならない場合があることにご留意ください。
- ※ 資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

## 投資リスク

## 基準価額の変動要因

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資者の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。
- 運用の結果として信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。
- 投資信託は預貯金と異なります。また、一定の投資成果を保証するものではありません。
- 当ファンドの主要なリスクは以下の通りです。

## ■ 債券市場リスク

【債券の価格の下落は、基準価額の下落要因です】

一般に債券は内外の経済情勢等の影響による金利の変動を受けて価格が変動します。通常、金利が上昇すると債券価格は下落します。また、格付けが引き下げられる場合も債券価格が下落するおそれがあります。債券価格の下落はファンドの基準価額が下落する要因となります。なお、価格の変動幅は、債券の種類、格付け、残存期間、利払いのしくみの違い等により、債券ごとに異なります。



# 愛称：泰平航路 コーポレート・ボンド・インカム (為替ヘッジ型)

マンスリー・レポート

【投信協会商品分類】 追加型投信／海外／債券

作成基準日：2024年09月30日

## 投資リスク

### ■ 信用リスク

【債務不履行の発生等は、基準価額の下落要因です】

ファンドが投資している有価証券や金融商品において債務不履行が発生あるいは懸念される場合、またはその発行体が経営不安や倒産等に陥った場合には、当該有価証券や金融商品の価格が下がったり、投資資金を回収できなくなったりすることがあります。これらはファンドの基準価額が下落する要因となります。

### ■ 為替変動リスク

【為替ヘッジにより、円高が基準価額に与える影響は限定的です】

外貨建資産への投資は為替変動の影響を受けますが、原則として対円で為替ヘッジを行うため、その影響は限定的と考えられます。ただし、完全に為替変動リスクを回避することはできません。なお、円金利がヘッジ対象通貨の金利よりも低い場合、その金利差相当分のヘッジコストがかかることにご留意ください。また、需給要因等によっては金利差相当分以上にヘッジコストがかかる場合があります。

### ■ カントリーリスク

【投資国の政治・経済等の不安定化は、基準価額の下落要因です】

海外に投資を行う場合には、投資先の国の政治・経済・社会状況の不安定化、取引規制や税制の変更等によって投資した資金の回収が困難になることや、その影響により投資する有価証券等の価格が大きく変動することがあり、基準価額が下落する要因となります。

### ■ 流動性リスク

【市場規模の縮小・取引量の低下により、不利な条件での取引を余儀なくされることは、基準価額の下落要因です】

有価証券等を大量に売買しなければならない場合、あるいは市場を取り巻く外部環境に急激な変化があり、市場規模の縮小や市場の混乱が生じた場合等に、十分な数量の売買ができなかったり、通常よりも不利な価格での取引を余儀なくされることがあります。これらはファンドの基準価額が下落する要因となります。

## その他の留意点

- ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性、換金申込みの受け付けが中止となる可能性、既に受け付けた換金申込みが取り消しとなる可能性、換金代金のお支払いが遅延する可能性等があります。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



# 愛称：泰平航路 コーポレート・ボンド・インカム (為替ヘッジ型)

マンスリーレポート

【投信協会商品分類】 追加型投信／海外／債券

作成基準日：2024年09月30日

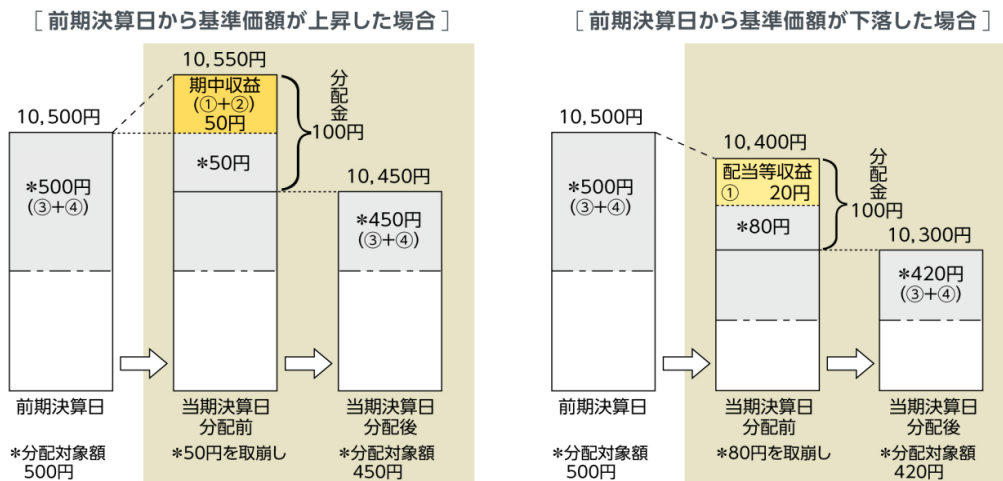
## 分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。



- 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

### (計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合)

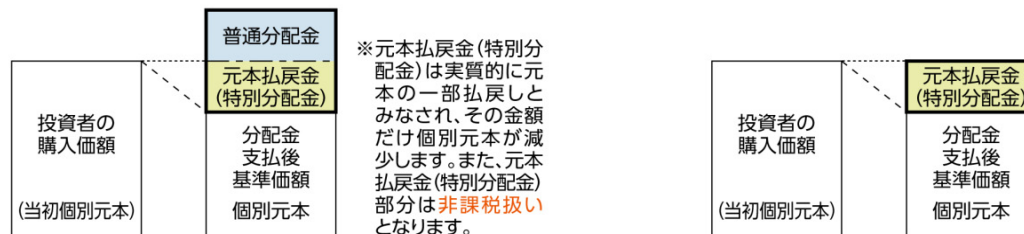


(注) 分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

※ 上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

### [ 分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合 ] [ 分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合 ]



普通分配金：個別元本（投資者のファンド購入価額）を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金（特別分配金）：個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金（特別分配金）の額だけ減少します。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

## ■ 設定・運用



愛称：泰平航路  
コーポレート・ボンド・インカム  
(為替ヘッジ型)

マンスリー・レポート

【投信協会商品分類】 追加型投信／海外／債券

作成基準日：2024年09月30日

お申込みメモ

購入単位

お申込みの販売会社にお問い合わせください。

購入価額

購入申込受付日の翌営業日の基準価額

購入代金

販売会社の定める期日までにお支払いください。

換金単位

お申込みの販売会社にお問い合わせください。

換金価額

換金申込受付日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を控除した価額

換金代金

原則として、換金申込受付日から起算して5営業日目からお支払いします。

信託期間

2029年5月7日まで（2009年5月29日設定）

決算日

毎月5日（休業日の場合は翌営業日）

収益分配

決算日に、分配方針に基づき分配を行います。委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

分配金受取りコース：原則として、分配金は税金を差し引いた後、決算日から起算して5営業日目までにお支払いいたします。

分配金自動再投資コース：原則として、分配金は税金を差し引いた後、無手数料で再投資いたします。

※販売会社によってはいずれか一方のみの取扱いとなる場合があります。

課税関係

- 課税上は株式投資信託として取り扱われます。
- 公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合に限りNISA（少額投資非課税制度）の適用対象となります。
- 当ファンドは、NISAの対象ではありません。
- 配当控除および益金不算入制度の適用はありません。

お申込不可日

以下のいずれかに当たる場合には、購入・換金のお申込みを受け付けません。

- ニューヨークの取引所の休業日
- ニューヨークの銀行の休業日

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



# 愛称：泰平航路 コーポレート・ボンド・インカム (為替ヘッジ型)

マンスリー・レポート

【投信協会商品分類】 追加型投信／海外／債券

作成基準日：2024年09月30日

## ファンドの費用

### 投資者が直接的に負担する費用

- 購入時手数料  
購入価額に**3.30% (税抜き3.00%) を上限**として、販売会社毎に定める手数料率を乗じた額です。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
- 信託財産留保額  
換金申込受付日の翌営業日の基準価額に**0.15%**を乗じた額です。

### 投資者が信託財産で間接的に負担する費用

- 運用管理費用（信託報酬）  
ファンドの純資産総額に**年1.089% (税抜き0.99%)**の率を乗じた額です。
- その他の費用・手数料  
以下のその他の費用・手数料について信託財産からご負担いただきます。
  - 監査法人等に支払われるファンドの監査費用
  - 有価証券の売買時に発生する売買委託手数料
  - 資産を外国で保管する場合の費用 等※上記の費用等については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※ 上記の手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

## 税金

### 分配時

所得税及び地方税 配当所得として課税 普通分配金に対して20.315%

### 換金（解約）及び償還時

所得税及び地方税 譲渡所得として課税 換金（解約）時及び償還時の差益（譲渡益）に対して20.315%

- ※ 個人投資者の源泉徴収時の税率であり、課税方法等により異なる場合があります。法人の場合は上記とは異なります。
- ※ 外国税額控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。
- ※ 税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

## 委託会社・その他の関係法人等

### 委託会社

ファンドの運用の指図等を行います。

三井住友DSアセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第399号  
加入協会：一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

ホームページ： <https://www.smd-am.co.jp>

コールセンター： 0120-88-2976 [受付時間] 午前9時～午後5時（土、日、祝・休日を除く）

### 受託会社

ファンドの財産の保管および管理等を行います。

三井住友信託銀行株式会社

### 販売会社

ファンドの募集の取扱い及び解約お申込の受付等を行います。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



愛称：泰平航路  
コーポレート・ボンド・インカム  
(為替ヘッジ型)

【投信協会商品分類】 追加型投信／海外／債券

作成基準日：2024年09月30日

販売会社

販売会社名	登録番号	日本証券業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会	日本一般社団法人投資顧問業協会	金融先物取引業協会	一般社団法人投資信託協会	備考
アイザワ証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第3283号	○	○	○			
あかつき証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第67号	○		○	○		
a uカブコム証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第61号	○	○	○	○		
S M B C日興証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第2251号	○	○	○	○		※1
株式会社 S B I 証券	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第44号	○	○		○		
F F G証券株式会社	金融商品取引業者 福岡財務支局長（金商）第5号	○	○				
F P L証券株式会社	金融商品取引業者 北海道財務局長（金商）第45号	○		○			
京銀証券株式会社	金融商品取引業者 近畿財務局長（金商）第392号	○					
Jトラストグローバル証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第35号	○					
東海東京証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長（金商）第140号	○	○	○	○		
とうほう証券株式会社	金融商品取引業者 東北財務局長（金商）第36号	○					
東洋証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第121号	○	○				
内藤証券株式会社	金融商品取引業者 近畿財務局長（金商）第24号	○	○				
浜銀 T T 証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第1977号	○					
播陽証券株式会社	金融商品取引業者 近畿財務局長（金商）第29号	○					
百五証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長（金商）第134号	○					
フィデリティ証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第152号	○		○			
松井証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第164号	○			○		
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第165号	○	○	○	○		
明和証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第185号	○					
豊証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長（金商）第21号	○					
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第195号	○	○	○	○		
ワイエム証券株式会社	金融商品取引業者 中国財務局長（金商）第8号	○					
株式会社愛知銀行	登録金融機関 東海財務局長（登金）第12号	○					
株式会社青森銀行	登録金融機関 東北財務局長（登金）第1号	○					
株式会社イオン銀行（仲介）	登録金融機関 関東財務局長（登金）第633号	○					※2
株式会社岩手銀行	登録金融機関 東北財務局長（登金）第3号	○					
株式会社 S B I 新生銀行（S B I 証券仲介）	登録金融機関 関東財務局長（登金）第10号	○			○		※3
株式会社 S B I 新生銀行（マネックス証券仲介）	登録金融機関 関東財務局長（登金）第10号	○			○		※2
株式会社北九州銀行	登録金融機関 福岡財務支局長（登金）第117号	○			○		
株式会社紀陽銀行	登録金融機関 近畿財務局長（登金）第8号	○					
株式会社京都銀行	登録金融機関 近畿財務局長（登金）第10号	○			○		

備考欄について

※1：「ダイレクトコース」でのお取り扱いとなります。※2：委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社※3：委託金融商品取引業者 株式会社 S B I 証券

愛称：泰平航路  
コーポレート・ボンド・インカム  
(為替ヘッジ型)

マンスリー・レポート

【投信協会商品分類】 追加型投信／海外／債券

作成基準日：2024年09月30日

販売会社

販売会社名	登録金融機関	登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 金融商品取引業協会	日本一般社団法人 投資顧問業協会	金融一般社団法人 先物取引業協会	一般社団法人 投資信託協会	備考
株式会社京都銀行（仲介）	登録金融機関	近畿財務局長（登金）第10号	○			○		※4
株式会社きらぼし銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第53号	○			○		※5
株式会社熊本銀行	登録金融機関	九州財務局長（登金）第6号	○					
株式会社群馬銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第46号	○			○		
株式会社京葉銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第56号	○					※6
株式会社清水銀行	登録金融機関	東海財務局長（登金）第6号	○					
株式会社十八親和銀行	登録金融機関	福岡財務支局長（登金）第3号	○					
株式会社十六銀行	登録金融機関	東海財務局長（登金）第7号	○			○		
株式会社常陽銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第45号	○			○		
株式会社第四北越銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第47号	○			○		
株式会社千葉興業銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第40号	○					※5 ※6
株式会社中京銀行	登録金融機関	東海財務局長（登金）第17号	○					※5
株式会社中国銀行	登録金融機関	中国財務局長（登金）第2号	○			○		※6
株式会社東邦銀行	登録金融機関	東北財務局長（登金）第7号	○					※5
株式会社徳島大正銀行	登録金融機関	四国財務局長（登金）第10号	○					※5
株式会社栃木銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第57号	○					※5
株式会社トマト銀行	登録金融機関	中国財務局長（登金）第11号	○					※5
株式会社富山銀行	登録金融機関	北陸財務局長（登金）第1号	○					
株式会社富山第一銀行	登録金融機関	北陸財務局長（登金）第7号	○					※5
株式会社長野銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第63号	○					
株式会社名古屋銀行	登録金融機関	東海財務局長（登金）第19号	○					※5
株式会社南都銀行	登録金融機関	近畿財務局長（登金）第15号	○					
株式会社西日本シティ銀行	登録金融機関	福岡財務支局長（登金）第6号	○			○		
株式会社東日本銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第52号	○					
株式会社百五銀行	登録金融機関	東海財務局長（登金）第10号	○			○		
株式会社福岡銀行	登録金融機関	福岡財務支局長（登金）第7号	○			○		
株式会社福島銀行	登録金融機関	東北財務局長（登金）第18号	○					
PayPay銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長（登金）第624号	○			○		
株式会社北都銀行	登録金融機関	東北財務局長（登金）第10号	○					
株式会社北洋銀行	登録金融機関	北海道財務局長（登金）第3号	○			○		
株式会社北洋銀行（仲介）	登録金融機関	北海道財務局長（登金）第3号	○			○		※7
株式会社北陸銀行	登録金融機関	北陸財務局長（登金）第3号	○			○		
株式会社北海道銀行	登録金融機関	北海道財務局長（登金）第1号	○			○		※5

備考欄について

※4：委託金融商品取引業者 京銀証券株式会社※5：新規の募集はお取り扱いしておりません。※6：ネット専用※7：委託金融商品取引業者 北洋証券株式会社

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■設定・運用



愛称：泰平航路  
コーポレート・ボンド・インカム  
(為替ヘッジ型)

マンスリー・レポート

【投信協会商品分類】 追加型投信／海外／債券

作成基準日：2024年09月30日

販売会社

販売会社名	登録金融機関	登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 金融商品取引業協会	日本一般社団法人 投資顧問業協会	金融先物取引業協会	一般社団法人 投資信託協会	備考
株式会社みちのく銀行	登録金融機関	東北財務局長（登金）第11号	○					
株式会社三井住友銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第54号	○	○		○		
株式会社みなと銀行	登録金融機関	近畿財務局長（登金）第22号	○			○		
株式会社もみじ銀行	登録金融機関	中国財務局長（登金）第12号	○			○		
株式会社山形銀行	登録金融機関	東北財務局長（登金）第12号	○					※5
株式会社山口銀行	登録金融機関	中国財務局長（登金）第6号	○			○		
株式会社横浜銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第36号	○			○		
大阪シティ信用金庫	登録金融機関	近畿財務局長（登金）第47号	○					
大阪信用金庫	登録金融機関	近畿財務局長（登金）第45号						
柏崎信用金庫	登録金融機関	関東財務局長（登金）第242号						
鹿沼相互信用金庫	登録金融機関	関東財務局長（登金）第221号						
川崎信用金庫	登録金融機関	関東財務局長（登金）第190号	○					
観音寺信用金庫	登録金融機関	四国財務局長（登金）第17号						
北伊勢上野信用金庫	登録金融機関	東海財務局長（登金）第34号						
きのくに信用金庫	登録金融機関	近畿財務局長（登金）第51号						
桐生信用金庫	登録金融機関	関東財務局長（登金）第234号						※6
桑名三重信用金庫	登録金融機関	東海財務局長（登金）第37号						
埼玉縣信用金庫	登録金融機関	関東財務局長（登金）第202号	○					
しのもめ信用金庫	登録金融機関	関東財務局長（登金）第232号						
高松信用金庫	登録金融機関	四国財務局長（登金）第20号						
但馬信用金庫	登録金融機関	近畿財務局長（登金）第67号						
玉島信用金庫	登録金融機関	中国財務局長（登金）第30号						
知多信用金庫	登録金融機関	東海財務局長（登金）第48号						
東京東信用金庫	登録金融機関	関東財務局長（登金）第179号	○					
東濃信用金庫	登録金融機関	東海財務局長（登金）第53号	○					
豊川信用金庫	登録金融機関	東海財務局長（登金）第54号						
奈良信用金庫	登録金融機関	近畿財務局長（登金）第71号	○					
西中国信用金庫	登録金融機関	中国財務局長（登金）第29号						
浜松磐田信用金庫	登録金融機関	東海財務局長（登金）第61号						
姫路信用金庫	登録金融機関	近畿財務局長（登金）第80号	○					
兵庫信用金庫	登録金融機関	近畿財務局長（登金）第81号	○					
福岡ひびき信用金庫	登録金融機関	福岡財務支局長（登金）第24号	○					

備考欄について

※5：新規の募集はお取り扱いしておりません。※6：ネット専用

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用





コーポレート・ボンド・インカム  
(為替ヘッジ型)

【投信協会商品分類】 追加型投信／海外／債券

作成基準日：2024年09月30日

## 販売会社

販売会社名	登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 金融商品取引業協会	日本一般社団法人 投資顧問業協会	金融先物取引業協会	一般社団法人 投資信託協会	備考
水戸信用金庫	登録金融機関	関東財務局長（登金）第227号					
大和信用金庫	登録金融機関	近畿財務局長（登金）第88号	○				
結城信用金庫	登録金融機関	関東財務局長（登金）第228号					

## 当資料のご利用にあたっての注意事項

- 当資料は、三井住友DSアセットマネジメントが作成した販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- 当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、将来に関し述べられた運用方針・市場見通しも変更されることがあります。当資料は三井住友DSアセットマネジメントが信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 投資信託は、値動きのある証券（外国証券には為替変動リスクもあります。）に投資しますので、リスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動します。したがって元本や利回りが保証されているものではありません。
- 投資信託は、預貯金や保険契約と異なり、預金保険・貯金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また登録金融機関でご購入の場合、投資者保護基金の支払対象とはなりません。
- 当ファンドの取得のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書（交付目論見書）および契約締結前交付書面等の内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。投資信託説明書（交付目論見書）、契約締結前交付書面等は販売会社にご請求ください。また、当資料に投資信託説明書（交付目論見書）と異なる内容が存在した場合は、最新の投資信託説明書（交付目論見書）が優先します。

■ 設定・運用